

第1回 O-40 西日本フットサルフェスティバル(九州シニア)実施要項

1. 名称

第1回 O-40 西日本フットサルフェスティバル(九州シニア)

2. 主催

九州フットサル連盟

3. 主管

福岡県フットサル連盟

4. 後援

未定

5. 特別協賛

未定

6. 協賛

株式会社 ミカサ、LUXPERIOR

7. 協力

未定

8. 期日

2025年2月22日(土)～2月23日(日)

9. 会場

大川市民体育館

〒831-0031

福岡県大川市上巻335

TEL 0944-88-3212

福岡市総合体育館(照葉積水ハウスアリーナ) 両日
(サブアリーナ)

〒813-0017

福岡県福岡市東区香椎照葉6丁目1-1

TEL 092-410-0314

10. 参加資格

(1) 一般財団法人日本フットサル連盟(以下、「日本連盟」という。)に「フットサル1種」で加盟登録した選手であること。(合同チームで可能)

※九州地域以外からの参加チームに関しては、できる限り選手登録をお願い致します。

(2) チームに所属する選手は1985年4月2日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。

(3) 外国籍選手は1チームあたり3人までの登録を認める。なお、外国籍選手はピッチ上に2名を超えて同時にプレーすることは出来ない。

- (4) 単独チームで参加するチームの選手・役員は、県大会を通して他のチームで参加していないこと。(選抜チームは、これにあたらぬ)

11.参加チーム

九州各県代表及び他地域含む計 12 チームとする。

※各県代表に欠員が生じた場合には審議する。

12.大会形式

(1) 予選ラウンド

①大会初日及び 2 日目を予選ラウンドとし、12 チームを 3 チームずつ 4 グループに分けて総当たり方式でリーグ戦を行い、各グループ 1 位チームが決勝トーナメントへ進出する。

②予選ラウンドにおける順位決定方式は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。

勝点は、勝ち「3」、引き分け「1」、負け「0」とする。但し、勝点合計が同じ場合は、以下の順位により決定する。

- (1)当該チーム間の対戦成績
- (2)当該チーム間の得失点差
- (3)当該チーム間の総得点数
- (4)グループ内での総得失点差
- (5)グループ内での総得点数
- (6)下記に基づく警告、退場ポイントがより少ないチーム
 - i) イエローカード 1 枚 1 ポイント
 - ii) イエローカード 2 枚によるレッドカード 1 枚 3 ポイント
 - iii) レッドカード 1 枚 3 ポイント
 - iv) イエローカード 1 枚に続くレッドカード 1 枚 4 ポイント

(7) 抽選

注：「当該チーム」とは、グループ内で勝点合計が並んだチームのことである。

(2) 決勝トーナメント

①各グループ上位 1 チームによるトーナメントを行なう

②試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

PK 方式により優勝チームを決定する。

(3) 試合時間

①予選ラウンド

24 分間（各ピリオド 12 分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 5 分間（第 1 ピリオド終了から第 2 ピリオド開始まで）とする。

②決勝ラウンド

順位決定戦

※チーム数により、試合時間は決定致します。

準決勝

24 分間（各ピリオド 12 分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 5 分間とする。

決勝

30 分間（各ピリオド 15 分間）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは 7 分間（第 1 ピリオド終了から第 2 ピリオド開始まで）とする。

PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

13.競技規定

大会実施年度の公益財団日本サッカー協会（以下、「日本協会」という）競技規則による。但し、以下の項目については本大会規定を定める。

(1) ピッチサイズ：原則として 40m×20m

(2) 使用球：MIKASA 社製フットサル 4 号ボール

(3) 競技者の数

競技者の数：5 名

交替要員の数：9 名

ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2 名以内

(4) チーム役員：5 名以内（通訳が登録される場合は 6 名以内）

(5) 競技者の用具

①ユニフォーム

(ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、1 着は揃ったユニフォームがあるのが望ましい。ゴールキーパー不在時はビブスでも可とする。

(イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。

(ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用することが望ましい。（ビブスでも可とする。）

(エ) シャツには、参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

(オ) 選手番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。1 番はゴールキーパーのために用意される。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

(カ) ユニフォームへの広告表示については、日本協会のユニフォーム規程に基づき承認された場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は、当該チームにて負担することとする。

(キ) ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。

(ク) その他のユニフォームに関する事項については、日本協会のユニフォーム規程に則る。

②靴

靴底は接地面が紺色もしくは白色またはトレーニングシューズで、スパイクシューズではないフットサルシューズまたはノンマーキングシューズを使用可能とする。

③ピブス

交代要員は、競技者と異なる色のピブスを着用しなければならない。

※ピブスは2着用意し、MCMに持参する。

14. 懲罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (2) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (3) 前項により出場停止処分を受けたとき、1次ラウンド終了時点で警告の累積が1回るとき、または本大会の終了のとき、警告の累積は消滅する。
- (4) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本連盟規律委員会が決定する。

15. 参加申込

- (1) 参加申込書に記載しうる人員は、1チーム当たり26名（役員6名・選手20名）を上限とする。

- (2) **申込先及び申込締切日（データを①②に送信）**

データ：参加申込書電子データ、プライバシーポリシー同意書

- 1 九州フットサル連盟 理事 杉水 孝広 宛
メールアドレス taka06black1983@gmail.com
- 2 九州フットサル連盟 理事長 金納 正善 宛
メールアドレス rcumind@yahoo.co.jp

***データ送信締切日：2025年1月31日(金)19:00 必着**

- (3) 参加申込書には必ず県フットサル連盟会長（または理事長）の印を捺印し送付すること。
- (4) 怪我等やむを得ない理由による選手の変更は、選手変更届（連盟印等必要）を上記データ送信先2者にメール送信すること。（役員の変更も同様とする。）
- (5) 参加申込の手続き（データ送信）は、必ず県フットサル連盟代表者が行うこと。

16. 電子選手証

九州地域のチームの登録選手は、本協会発行の電子選手証の写し（写真が登録されたもの）を、試合会場に持参すること。選手証が確認できない場合は、試合に出場できない。

※他地域のチームに関しては、なるべく選手証をご持参いただけるようお願い致します。

17. 組合せ

九州フットサル連盟において抽選を行い、決定する。

18. 参加料

30000円を試合当日1試合目のMCMに持参する。

19. 表彰

優勝、第2位を表彰する。

20.代表者会議

全チームが参加する代表者会議は行わない。（事前にメール等で諸注意等の連絡を致しますのでご確認ください。）

21. 傷害補償

競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

22.その他

- (1) 各試合の70分前に両チームの代表者、審判員等とのマッチコーディネーションミーティングを開催する。マッチコーディネーションミーティングにおいてメンバー提出用紙の回収、両チームのユニフォームの決定、諸注意事項の説明等を行う。なお、チームの代表者は監督であること。*チームは、ユニフォーム、電子選手証（写）及びメンバー票を持参する。
- (2) 大会規定に違反し、その他不都合な行為があった時は、そのチームの出場を停止する。
- (3) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5またはその時点のスコア差が5点以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (4) 本大会で事故等が生じた場合、主催者・主観者は一切の責任を負わない。「スポーツ安全保険」等に加入し参加すること。
- (5) 大会要項に規定されていない事項については、本大会実施委員会において協議のうえ決定する。
- (6) 今大会において、怪我防止の観点から過度なショルダーチャージ、スライディングタックルは反則とする。
- (7) 今大会において、累積ファウルは3ファウル制を用いる。累積ファウル4つ目から第2PKとする